

謹賀新年

新年のご



対馬市長 比田勝 尚喜

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに令和4年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、国内1例目の新型コロナウイルス感染者の確認から2年が経過しますが、マスクの着用という非日常が日常に変わり、今も、一部の日常は奪われ続ける状況が続いています。

この閉塞感の中、明るい話題と言えば何をおいても二刀流メジャーリーガー大谷翔平選手の活躍ではないでしょうか。常識を覆した彼のプレーとその実績は、アメリカの大人から子どもまでも熱狂させ、さらにグラウンド内外での実直な言動が称賛されたことは、日本人として誇らしく思います。また、彼の記者会見は「感謝」という言葉で締めくられますが、これも、心技体の調和を図り、アスリートとして最高のパフォーマンスを發揮することにつながる言動であり「感謝の言葉を心で唱えるだけでも自律神経が整う。」という専門家の話にもうなづける気がします。

市内に目を向けてみると、昨年は、1月開催を延期していた成人式の中止、また島内外から参加者をお迎えする代表イベントである国境マラソンなども新型コロナウイルス感染予防対策の観点から止む無く中止といたしました。とりわけ、人の移動が制限されることにより観光客が激減し、さらに市民の外食自粛などから飲食関連業を中心に島内消費も低迷し、大きな傷跡を残しました。その状況下においても、必ずや訪れる収束のタイミングを捉え、疲弊した島内の経済活動の反転攻勢をかけるため、観光インフラなどの整備改善や事業維持継続のための支援などを着実に進めてきました。

一方、感染対策の切り札として実施したワクチン接種では、市民皆様のご理解とご協力のもと接種対象者の8割を超える方々が2回目の接種を完了し、併せて日常生活でも一人一人の慎重な行動により市内における感染拡大を最小限に抑えることができました。そして、わが身を顧みず使命感

をもって感染者の治療に当たられた医療関係者の皆様には、感謝の意を尽くし得ません。

「第6波は必ず来る」と感染症の専門家が断言します。一つには、未だに変異を繰り返す未知のウイルスであり、依然、治療薬も世界的に十分な量を確保できないことが挙げられるからではないでしょうか。しかし、私たちは新型コロナウイルスとの2年間の闘いの経験を踏まえ、第6波の波を小さく抑えながら、コロナ禍の経済活動へ踏み出さなければなりません。

数年前のデータではありますが、持続可能な開発目標（SDGs）に関連した地域の潜在能力を表す「新国富指標」では、九州7県の全市町村において、対馬市が第1位되었습니다。この指標は、道路などの人工資本、労働生産性の人的資本、森林・農地面積や漁獲量などの自然資本を中心に、地域の資産を金額で示したものです。

日本には、森羅万象は神であり魂が宿る「八百万の神」という考えがあり、その根底にあるのは多様な自然への感謝と敬意、そして畏怖です。これは、SDGsの精神と相通じるものと考えます。

任期2期目の折り返しとなります。常に感謝の気持ちを念頭に、SDGs未来都市として、その潜在能力を呼び起こし、Society5.0社会における持続可能な島づくりを押し進めてまいります。

本年も、市政に対します相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様方にとりまして、活力に溢れ、笑顔が輝く素晴らしい年になりますよう心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



新年

あいさつ



対馬市議会議長 初村 久藏

あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、ご健勝で希望に満ちた新春をご家族おそろいでお迎えのことと心からお喜び申し上げます。令和4年の年頭にあたり市議会を代表いたしまして、ここに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、日ごろから市議会に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

私たち、対馬市議会におきましては、昨年5月の一般選挙において、市民皆様の絶大なるご支持を受け、新たな19人で、6月から活動を始めたところであります。6月の初議会において、正副議長の選出、3常任委員会、議会運営委員会などの構成を決定し、これまで定例会3回、臨時会1回の開催と、提案された議案について慎重に審査を進め、市長部局と一体となって、対馬市の活性化のための議論を続けてまいりました。また、3常任委員会、国境離島活性化推進特別委員会、議会広報編集特別委員会においても対馬全体の課題、各地域の実情を細かく理解すべく、自ら足を運んで所管事務調査を精力的に実施し、それぞれの専任重要課題に積極的に取り組んでいるところであります。

市民皆様のご意見を伺いながら、より市民に開かれた透明性の高い議会を目指し、議決機関としての議会の責務を着実に果たしてまいりたいと考えております。

さて、2021年を振り返りますと、新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るい、日本においても多くの尊い命が失われました。亡くなられた方々とそのご家族に哀悼の意を表するとともに、罹患された皆様にお見舞いを申し上げます。そして日々新型コロナウイルス感染対策の最前線で奮闘されている医療従事者をはじめ関係者の皆様に敬意を表します。さらに新型コロナウイルスはグローバル化した現代において、人や物の移動を妨

げ、世界経済に大打撃を与え、その結果、我々の生活様式も大きく変化しました。市議会としましても、引き続き市民皆様の生命と暮らしを守るためにの施策を第一に比田勝市長とともに取り組んでまいる所存であります。

一方、世界で活躍する日本人の明るいニュースも多くありました。コロナ禍の中で1年延期されました、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、オリンピック大会では58個、パラリンピック大会では51個のメダルを獲得するなど、無観客の中ではありました前回大会を大きく上回る成績を収めてくれました。また、記憶に新しいのは、アメリカ大リーグでの大谷翔平選手の二刀流でのMVP受賞の大活躍、ゴルフ界でも松山英樹選手の全米マスターズでの日本人初制覇、真鍋淑郎氏のノーベル物理学賞受賞など、世界で大活躍する日本人の姿は自誇生活が続く中で、私たちにスポーツの素晴らしさ、日本人としての誇りなど多くの感動を与えてくれました。

新たな年を迎え、私ども市議会といたしましても、対馬市の将来像であります「自立と循環の宝の島 対馬」の実現と市民福祉の向上のため議員一同、市民皆様の信頼と負託に応えられるよう、全身全霊で取り組んでまいる所存であります。そして「このまちに生まれてよかつた、住んでよかつた。」と実感できる、より豊かな住み良いふるさとづくりを目指し、今後さらなる創意工夫を重ね、市民皆様のご期待に応えるよう決意を新たにしてまいります。どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

結びに、改めてコロナ禍の終息を願い、皆様一人一人にとって実り豊かで明るい一年になることを心からお祈りいたしまして、年頭のごあいさつといたします。